

# ガスケットの交換

ドアまわりのガスケットは気密性を高める役割をします。消耗・劣化するとドアを閉じても隙間から空気が入り、燃焼が加速します。

※ 紙をはさんでドアを閉め、紙が抵抗なく抜けるようであれば気密性が十分でない可能性があります。交換時期をはかる一つの目安にしてください。

## 必要なもの

ガスケット（ストーブ機種により使用ガスケットの太さは異なります）、ガスケット専用ボンド または ガスケットセメント

## 使用する道具

ワイヤーブラシやマイナスドライバー（溝の掃除用）、はさみ、作業用グローブ、マスク



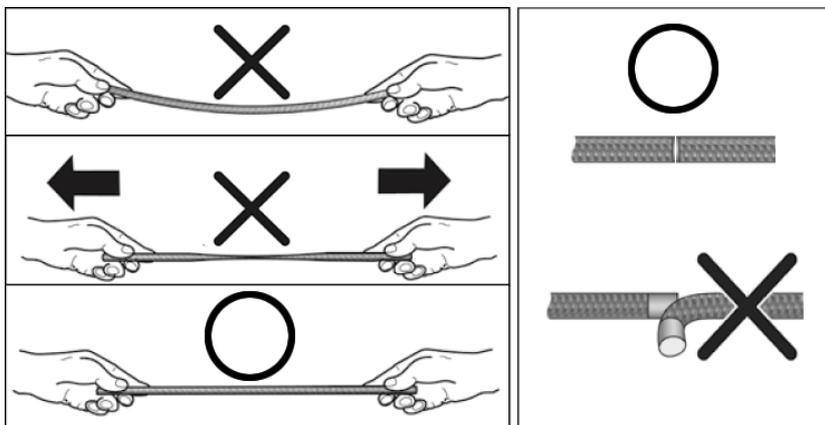
古いガスケットを取り除き、ワイヤーブラシやマイナスドライバーで溝を掃除します。



ボンドは溝高の 1/3 から 1/2 程度です。  
※ボンドのつけ過ぎにご注意ください



ガスケットを溝に押し込み、ドアを閉めて固定します。



ガスケットは引っ張らず、縮めずに。

また、余分な分はカットして重ならないようにします。

- ※ ガスケット全体に浸み込むほどボンドをつけてしまうと、ガスケットが硬くなり、ドアが閉めにくくなります。ご注意ください。
- ※ 粘着テープ付のガスケットでもガスケットボンドで接着することをお勧めします。剥離紙は必ず剥がしてお使いください。
- ※ 液状ガラスクリーナーをお使いの場合、液体がたれてドア下部のサビやガスケット硬化の原因となります。ご注意ください。

新しいガスケットに交換した後は、ドアが閉まりにくくなる場合があります。なじむまでは、ドアを閉める際にドアをしっかり押し込んでからハンドルを回すようにしてください。解消されない場合、ドアラッチ等の調整が必要となる可能性があります。心配な方は、ストーブを設置した専門業者へガスケットの交換をご依頼頂くことをお勧めします。